

国内外



6.3◇「男性版産休」、新設

男性の育児休業(育休)取得を促す改正育児・介護休業法などが衆院本会議で可決、成立した。子どもが生まれてから8週間以内に最大4週間の休みを取得できる「出生時育児休業」の新設が柱となる。夫婦が協力して子育てに取り組めるようにする狙いがある。来年4月以降、順次導入する。

6.4◇出生数、過去最少84万人

厚生労働省は、2020年の人口動態統計(概数)を発表した。生まれた子どもの数(出生数)は84万832人(前年比2万4,407人減)となり、5年連続で過去最少を更新した。1人の女性が生涯に産む子どもの推計人数を示す「合計特殊出生率」も1.34となり、5年連続で低下した。

6.16◇5月輸出、49.6%増加

財務省は、5月の貿易統計を発表した。輸出は6兆2,613億円で前年同月比49.6%増となり、3か月連続で増加した。新型コロナウイルスの影響が出る前の2019年5月比でも7.3%増加となった。輸入は27.9%増の6兆4,484億円となり、差引きでは、1,871億円の貿易赤字となった。

6.25◇総人口、0.7%減

総務省は、国勢調査の速報値を発表した。2020年10月1日時点の外国人を含む総人口は1億2,622万6,568人で、2015年の前回調査から86万8,177人減少した(0.7%減)。地域別では、38道府県で減少した一方、東京圏(埼玉、千葉、東京、神奈川)は増加し、人口偏在が進んだ。

県内



6.4◇県内出生4,499人、最少更新

厚生労働省が発表した人口動態統計(概数)によると、2020年に県内で生まれた子どもの数(出生数)は4,499人(前年比197人減)だった。14年連続の減少で、1899年の統計開始以降初めて5,000人を割った2019年に続き、過去最少を更新した。

6.15◇ウーバーイーツ、秋田市へ進出

料理の宅配代行サービスを手がける米大手「ウーバーイーツ」の日本法人は、秋田市の一部地域で7月1日からサービスを開始すると発表した。当面は秋田駅周辺や山王エリアなど中心部が対象で、50店舗以上が登録している。基本の配達時間は午前9時から翌日午前0時。

6.15◇農業産出額、横手市6年連続トップ

農林水産省がまとめた2019年の市町村別農業産出額の推計によると、県内トップは横手市の295億6,000万円だった。同市トップは2014年以降6年連続。主要品目別では、野菜、果実、畜産が1位となった。2位は大仙市の236億6,000万円、3位は大潟村の140億2,000万円。

6.25◇大曲の花火、2年連続中止

大仙市や大曲商工会議所などでつくる「大曲の花火」大会委員会は、8月28日に予定していた第94回全国花火競技大会の開催を中止すると発表した。2年連続の中止は戦後初めて。例年70万人以上が訪れており、新型コロナウイルスの感染防止が難しいと判断した。